

鬼怒川・小貝川大規模氾濫に関する減災対策協議会

○背景

平成27年9月に発生した「**関東・東北豪雨**」を踏まえ、新たに「**水防災意識社会 再構築ビジョン**」として、全ての直轄河川とその沿川市町村(109水系、730市町村)において、平成32年度(5年間)目途に水防災意識社会を再構築する取組として、ハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進するための減災対策協議会を設置することが平成27年12月11日に決定しました。

本協議会は『鬼怒川・小貝川』における関係機関で組織された『大規模氾濫に関する減災対策協議会』となります。

○設置

【下流域減災対策協議会】

- 第1回
平成28年2月17日
- 第2回
平成28年5月11日



全国に先駆けて茨城県域を対象に『鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災協議会』を設置しました。
[結城市、龍ヶ崎市、下妻市、常総市、取手市、つくば市、守谷市、筑西市、つくばみらい市、八千代町、茨城県、気象庁、国土地理院、関東地方整備局、下館河川事務所]

【上流域減災対策協議会】

- 第1回
平成28年6月13日
- 第2回
平成28年9月26日



栃木県域についても『鬼怒川・小貝川上流域大規模氾濫に関する減災協議会』を設置しました。
[宇都宮市、小山市、真岡市、さくら市、下野市、上三川町、益子町、芳賀町、塩谷町、高根沢町、栃木県、気象庁、国土地理院、下館河川事務所、鬼怒川ダム統合管理事務所]

鬼怒川・小貝川大規模氾濫に関する減災対策協議会

○取組方針【下流域減災対策協議会】

平成28年5月11日に「第2回 鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会」を開催し、**全国に先駆けて**水防災意識社会再構築ビジョンに基づく「鬼怒川・小貝川下流域の減災に係る取組方針」を取りまとめました。

1)ハード対策の主な取組

■洪水を河川内で安全に流す対策 ■危機管理型ハード対策 ■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

2)ソフト対策の主な取組

①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

- ・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーション(鬼怒川・小貝川・八間堀川)の公表
- ・広域避難計画の策定
- ・広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知
- ・まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充
- ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進
- ・ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用

■避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成

- ・避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成
- ・タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練
- ・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善(水害時の情報入手のし易さをサポート)

■防災教育や防災知識の普及

- ・水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の設置
- ・水防災に関する説明会の開催
- ・教員を対象とした講習会の実施
- ・小学生を対象とした防災教育の実施
- ・出前講座等を活用した講習会の実施
- ・プッシュ型の洪水予報等の情報発信
- ・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供

②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

- ・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施
- ・水防団同士の連絡体制の確保
- ・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検
- ・関係機関が連携した実働水防訓練の実施
- ・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進
- ・地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築

③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組

■緊急排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施

- ・排水機場・樋門・水門等の情報共有、浸水区域内の自然勾配を踏まえた排水の検討等を行い、大規模水害を想定した緊急排水計画(案)を作成
- ・緊急排水計画(案)に基づく排水訓練の実施

鬼怒川・小貝川大規模氾濫に関する減災対策協議会

○取組方針【上流域減災対策協議会】

平成28年9月26日に「第2回 鬼怒川・小貝川上流域大規模氾濫に関する減災対策協議会」を開催し、水防災意識社会再構築ビジョンに基づく「鬼怒川・小貝川上流域の減災に係る取組方針」を取りまとめました。

1)ハード対策の主な取組

■洪水を河川内で安全に流す対策 ■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

2)ソフト対策の主な取組

①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

- ・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーション（鬼怒川・小貝川）の公表
- ・広域避難計画の策定
- ・広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知
- ・地域の特性を踏まえた適切な避難方法（垂直避難等）や効果的なまるとまちごとハザードマップの検討・周知
- ・要配慮者利用施設の避難計画の検討・作成及び管理者への周知・啓発
- ・ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用

■避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成

- ・短時間判断等の上流域の特徴を考慮したタイムラインの更新及び実践的な訓練の検討
- ・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善（水害時の情報入手のし易さをサポート）

■防災教育や防災知識の普及

- ・水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の設置
- ・水防災に関する説明会の開催
- ・小中学生を対象とした防災教育の実施及び教員へのサポート
- ・出前講座等を活用した講習会の実施
- ・プッシュ型の洪水予報等の情報発信
- ・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供

②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

- ・水防団等への連絡体制の再確認
- ・水防団同士の連絡体制の確保
- ・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検
- ・関係機関が連携した実働水防訓練の検討・実施
- ・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進
- ・地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築
- ・自主防災組織の促進及び支援等の検討

③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための氾濫水の早期排水を促す既存施設の活用等の取組

■既存施設の活用を含めた緊急排水計画(案)の作成及び既存施設の管理方法の検討

- ・排水機場・樋門・水門等の情報共有、霞堤の排水機能を踏まえた排水の検討等を行い、大規模水害を想定した緊急排水計画(案)を作成
- ・霞堤の適切な管理のための機能・効果の啓発活動の検討・周知